

今回のNewsletterでは、8月4日(金)に実施した、英語インプルーブメントセミナー[高等学校]とパフォーマンステストワークショップでの講義内容を紹介します。

午前の英語インプルーブメントセミナーでは、滋賀県立大学の真島アマダ先生から、生徒のスピーキング力を高める多くの活動を紹介していただきました。

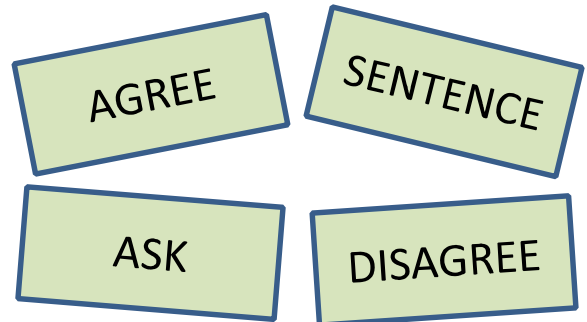
午後のパフォーマンステストワークショップでは、京都外国語大学の安木真一教授から、「パフォーマンステストの実施と評価」というテーマで、言語活動の充実につながる取組やパフォーマンステストの効果的な指導と評価について、例を交えながら教えていただきました。

## 英語インプルーブメントセミナー

真島アマダ先生から、他にも多くの活動を紹介していただきました。今回はその活動の一例を紹介します。

### Talking by Using Cards

- ・3～5人のグループに分かれて、出されたテーマについて話し合う。
- ・発言をする際はカードを場に出す。
- ・カードの種類は4種類。  
誰かに質問する場合 :【ASK】  
相手の発言に賛成する場合 :【AGREE】  
相手の発言に反対する場合 :【DISAGREE】  
自分の意見を伝える場合 :【SENTENCE】
- ・手持ちのカードをすべてなくした人が勝者。



例えば

**Do you think people from all over the world need to learn English?** なら

A: I think they need to learn English because English is an international language. 【SENTENCE】 What do think?【ASK】

B: I agree. 【AGREE】

Most international conferences are conducted in English. 【SENTENCE】

C: I don't think so. 【DISAGREE】 People should decide which language they will learn based on their own interests. 【SENTENCE】

◎カードを使うことで、ゲーム感覚でディスカッションができる。

◎カードの指示に従って発言内容を考える必要があるため、思考しながら表現する力を養うことができる。

## パフォーマンステストワークショップ

評価後、授業改善につながるパフォーマンステストを実施していきましょう。

### 学習評価の改善と基本的な考え方

学習評価の充実



生徒のよりよい学び  
教師の授業改善

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと  
(「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」平成31年1月21日)

## リテリング活動におけるパフォーマンステストの評価例

出典:ワークショップで使われた、安木教授のパワーポイントのスライドから一部抜粋

### 通常の評価基準

評価基準	3点	2点	1点
発音	どの語も正確。	誤りがいくつか。	正確でない語が多い。
流暢さ	流暢に話している。	発話速度はやや遅め。	発話速度が遅い。
アイコンタクト	ほぼ相手を見ている。	時間の半分以上。	ほぼ見ずに話している。
内容	手がかり全て使用する。本文を正確に伝えている。	手がかりいくつか使用。本文をある程度伝えている。	ほぼ使用せず、本文の内容を伝えていない。
パラフレーズ	言葉の形式を多く使用する。	いくつか使用する。	ほとんど使用せず。

### 現行の学習指導要領に即した評価基準

観点	項目	2点 1点 0点	合計
知識・技能	ある程度文法的に正確な英語を話している。		
	ある程度正確な発音・アクセントで話している。		
	ある程度正確なリズムとイントネーションで話している。		
思考・判断・表現	内容が面白く、聞き手が興味を持つ内容である。		
	スライドなどの資料が効果的に作成されている。		
主体的態度	ポーズが適切に使用されて、繰り返しなども効果的である。		
	顔を上げて話している。		
	アイコンタクトを使用している。		
	十分な声量で話している。		
	感情を込めて、楽しんで話している。		

#### 安木先生からのパフォーマンステストを実施する上でのアドバイス

- ・先生の負担が最小になるよう、指導をシンプルに、評価基準もシンプルに設定する。
- ・パフォーマンスには、授業の前半で行うタイプと授業の終わりで行うタイプがあるので、目的に応じて使い分けることが大切である。

#### グループ協議のテーマと感想等(一部抜粋)

##### 【各校で実践しているパフォーマンステストの例】

##### スピーキング

- ・校外学習先についてのプレゼンテーション
- ・グループ内で地域についての紹介動画の作成と発表
- ・ALTとのインタビューテスト
- ・ロールプレイをベースにしたパフォーマンステスト  
例) Immigration Officeでのやりとり、海外でのショッピング  
ホテルでのチェックイン、レストランでの店員とのやりとり

##### ライティング

- ・自分が好きな動物について、3文ほどの英文の作成
- ・写真(生き物・風景など)を見せて、その説明文の作成



##### 【研修全体の感想】

- ・評価を簡単にすることで、生徒にとっても教師にとっても負担の少ないパフォーマンステストを行うことができることがわかった。
- ・パフォーマンステストを行うことにより、模試の成績が向上した研究結果に驚いた。
- ・よりよいパフォーマンステストにするために、音読活動や内容理解を十分に行う必要があることを知った。
- ・インプット重視の授業ではなく、インプットした内容をアウトプットし、英語を使うことを重視した授業改善をしていきたい。

#### 今後の予定[高等学校]

- 11月 1日(水) 13:05~13:55 英語発信力育成事業における公開授業 Aグループ @河瀬高等学校  
11月10日(金) 14:10~15:00 英語発信力育成事業における公開授業 Bグループ @彦根東高等学校